



KAEDEは、たくさんの人が読むことができるように「やさしい日本語」を使っています。
「やさしい日本語」は、日本語を勉強中の人でもわかりやすい、簡単な日本語のことです。

「冒険家族」に行ってきました！

今回、新しい隊員の東と兼定も加わり、自然体験センター「冒険家族」に行ってきました。
冒険家族の建物は築75年。昔は小学校でした。30年前、今のオーナー阿南さんが自然体験センター「冒険家族」を始めました。今ではニセコエリアにアウトドアや自然を体験できる場所はたくさんありますが、当時は「自然体験」できる場所は「冒険家族」だけでした。
当時は札幌市の学童クラブの子どもたちが、夏はキャンプ、冬はスキーなどを体験しに訪れたそうです。それから、ニセコエリアに外国人観光客がたくさん訪れるようになり、町の雰囲気がとても変わったと阿南さんは言います。



阿南さんが大切にしていること

今では自然体験をYouTubeなどで簡単に見ることができますが、「実際に自然の中で自分で考えながら体験するのは違う」と阿南さんは言います。
一番大切にしているのは、結果ではなく、そこに着くまでの道のりだと言います。
例えば、おいしい料理（結果）だけを出して、おいしい、素晴らしいと思うより、ご飯を食べる前に自分で山菜を採って、薪を割って、火を起すという道のりがあると、出来上がったご飯がもっとおいしく感じたり、素晴らしいと感じたりします。道のりがあることで、結果の質が上がるのです。
冒険家族の周りでは、春夏秋冬全く違う自然を感じるができますよ。毎日状況がちがう自然の中で、自分で考えて何かをすることはとても大切で、面白いと感じました。



栗原 (空き家・移住定住)

建物の裏側では沢山の種類の山菜を採ることができます。毎年4月頃が山菜が採れる季節です。食べられる山菜と食べられない山菜の違いを教えてくださいました。毒があるものもあり、見分けるのは難しいです。おいしい食べ方も教えてくださいました。収穫した山菜をお肉と炒めて食べました。少し歩くだけで色々な山菜を採ることができ、とても楽しかったです。正しい知識を身につけて来年も山菜採りに挑戦したいと思います。



兼定 (倶知安商工会議所)

「冒険家族」の建物は昔「比羅夫小学校」という小学校でした。廊下には子どもたちの絵があり、小学校の雰囲気がそのまま残っています。この建物は小学校の役目を終えて、取り壊される予定でした。ですが、30年前に阿南さんが借りて大切に守られています。自分で火を起こして、ご飯を炊いたのは初めてでした。自然を体験しながら、小学校のようにいろんなことを学べる場所です。とても素晴らしい環境なので、いつまでも残して欲しいです。

書いた人 : 倶知安町役場 地域おこし協力隊
 電話 : 0136-56-8001 メール : sousei@town.kutchan.lg.jp



岡本 (倶知安観光協会)

なんと、冒険家族にはカフェもあります！シラカバやカエデの樹液で入れるコーヒーが、このカフェの看板商品です。樹液ってどんな味だと思いますか。少し甘いですが、そして、甘いけどさわやかです。これらの樹液は買うことができるので、お土産としてもおすすめです。また、手作りの納豆など、おいしくて体にも良いランチも作っています。Wi-Fiも自由に使うことができます。テレワークなどでも集中しやすい環境です！



東 (HOKKAIDO EVENTS)

今は、僕が子どもの時より公園が少ないと感じます。子どもの時から外で遊んで、自然の中で体を動かすことは大切です。基本の体力や健康は、子どもの頃に作られます。「冒険家族」で、都会ではできない体験をたくさんしました。まるで子どもの時のように、時間を忘れて熱心に取り組みました。例えば薪割り。薪割りは意外と難しいです。体の使い方を自分で考えて、何度もチャレンジしました。自然の中で、自分で考えて学ぶことはとても貴重な体験でした。

